



互助 東南村山

～相互扶助・福祉の増進～

第11号

発行

一般財団法人
山形県教職員互助会
退職互助部東南村山支部

題字

波間 誠



東南村山支部の 「喜寿を祝う会」

支部長 奥山博史

新聞やテレビのニュースから「コロナ」や「感染」などの文字や言葉がほとんど見られなくなりました。感染が急拡大していた頃は、支部の各行事は勿論のこと、会議さえも控えざるを得ませんでした。当支部の「喜寿を祝う会」も二年続けて実施できず、見通しの立たない状態が続きました。

当支部の「喜寿を祝う会」の始まりは平成二十年からになります。平成十四年までは、喜寿と米寿になられた皆様全員に、県の互助会より『長寿祝い金』が支給されておりました。しかし、互助会の制度改正や財政上の諸事情から、喜寿の方への『長寿祝い金』は、平成十四年で終了となってしまいました。そこで、各地区支部では、それに代わる行事、出来るだけ多くの喜寿の皆様が参加できる行事を模索することになりました。会員数の少ない地区では、研修旅行とか見学会など自由な発想で企画できますが、会員数の多い東南村山地区では、企画も限定されてしまうため、当時の支部役員の方々は、かなり頭を悩ませたそうです。結果、喜寿の皆様を「昼食会」にご招待し、旧交をあたためていただくのが一番という考えに至り、この「喜寿を祝う会」が始まったとのことでした。

そのような経緯を経ていることもあり、「喜寿を祝う会」を開催出来なかつた年度の喜寿者の会費について、県の事務局より予算追加を認めていただきましたので、ようやく今年度に限って四ヶ年分の「喜寿を祝う会」を開催することが可能になりました。

「喜寿を祝う会」の立ち上げに御苦労下さった先輩方に感謝申し上げ、退職互助部が続く限りは、この東南村山支部の「喜寿を祝う会」も続いていくことを心より願っております。



東南村山支部役員会

4月20日(木)・6月16日(金) 10:00～

山形市総合学習センターに於て



総会・懇親会

再会の時・再開に寄せる思い響け

6月27日(火)
ホテルポリタ山形

令和五年度退職互助部東南村山支部総会並びに懇親会が、六月二十七日(火)ホテルメトロポリタン山形において、百名を越える参加者のもと開催されました。総会では、貴重なご意見をたくさんいただき、慎重に審議されました。また、アトラクションは、県内外でご活躍されている「アンサンブル・フォーレスト」のピアニスト田中ふみ子氏、ソプラノ 菅野順子氏、フルート 阿部太彦氏によるミニコンサートでした。披露された曲目は、洋楽、邦楽、映画音楽等広いジャンルに渡り、聴衆を魅了するものばかりでした。飛び入りで村形副支部長の参加もあり、場の楽しい雰囲気盛り上げてくれました。

懇親会では、開催できなかった三年間の鬱積した思いを晴らすように、至る所で笑顔の輪が広がり、懐かしい方々と終始和やかに会員相互の親睦を深めることができました。来年度の再開を約束してテーブルをあとにした方々もいました。また来年、この会で逢いましょう。来年度は皆様のさらなる参加を期待しています。

総会に参加して

加藤信一

年金生活二年目。新型コロナが新しいフェーズに入っても、多くの人と会ったり、コンサート、会食などに参加したりする機会がほとんどない毎日。そんな中初めて、四年ぶりとなった総会に参加した。

総会後はアトラクションと懇親会。演者の軽妙な話ぐりと素敵な演奏のハーモニーを堪能し、旧知の方や初めての方々と卓を囲んでの話。何年かぶりに有意義で充実したひととき。療養補助金の相談もあった。また総会に参加し、多くの方々の出会いをもちたいと思った。多くの方にお勧めしたい。

三十年ぶりの再会

永沼千鶴子

地区幹事の委嘱状を受け取った途端に全ての行事が中止、四年ぶりの総会は初めての体験でした。美しい音楽、お食事と懇談の中、三十年ぶりにお会いした先生はスマホを使いこなす九十歳！職場を一年間ご一緒しただけでしたが、私のことをちゃんと覚えていて下さり、とても感激しました。この会があればこそその出逢いです。

また来年皆様と再会出来ることを祈念して閉会を迎え、お帰りになる皆様の後姿からは、この会を楽しんだ余韻が、音叉のように私の心に伝わってきました。



再会の時・再開に寄せる思い響け
ともにつくる音楽のひと時

プログラム

この道

初恋

浜辺の歌

ひまわり

アベマリア

森の小鳥

カピネラ

カルメン幻想曲

ふるさと

アンサンブル・フォーレスト

ピアニスト 田中ふみ子氏

ソプラノ 菅野 順子氏

フルート 阿部 太彦氏



音楽で元氣回復

吉田眞弓

ようやく、たくさんの方々と同じ空間で演奏を楽しむことができました。

「浜辺の歌」の美しい歌声と柳ごおりと豆が作り出す波音が、穏やかな時の庄内浜の景色を思い描かせてくれました。

映画「ひまわり」がウクライナのヘルソン州で撮られた映像と知り、音楽の中に身をゆだねる心地良さを味わいつつ、戦争が早く終わりますようにと願っていました。

目の前でピアノとフルートの超絶技巧の曲「カルメン幻想曲」を聴ける幸せ。指の動き、プレスに目が離せないほど感動しました。

久しぶりの心癒されるひとときにとっぷり元氣をもらいました。



祝 喜寿を祝う会

愉快に・元気に

久々の同級生との再会

9月27日(水)

ホテル外ロリタン山形

今年度の喜寿を祝う会は、コロナ禍で開催できなかつた過去三年間の方々にも案内状を差し上げ、総勢五十二名の皆様が集いました。

開会行事では、奥山支部長の挨拶の後、喜寿代表の方々より近況報告をいただきました。

その後行われた『マリンバピアチエーレ』の演奏会は、日常を忘れるひとときとなりました。両手に持った四本のバチを自由自在に操る演奏技術の巧みに驚かされながら、ナチュラルで素朴な音色に癒され、それでいて心が弾むような木琴の音色に元気をもらいました。アンコールの『マイウェイ』では、これまでの自分が歩んできた道をこの曲に重ね合わせ、これからの生き方に勇気をもらいました。

乾杯の後、久しぶりの同級生との再会を喜び合い、昔話に花を咲かせ、美味しいものを食べながら楽しく懇談し、和やかな雰囲気の中に会が進んでいきました。



藤田和子

歌の勉強をライフワークとして続けています。合唱のハーモニーの美しさ、ソロでのダイナミックな歌い方等、楽しんで活動しています。生涯現役でありたいと思うこのごろです。

佐藤利廣

生活では孫の送迎が重要な日課となっております。

庭を眺めては、樹木の力強い成長を喜び、また、その剪定、手入れに苦労しております。

これまで採拓してきた文学碑の拓本を飾り、芭蕉や茂吉等に思いを馳せ、楽しんでおります。

関ミサ子

退職して十七年、あつという間です。家庭菜園で汗を流し、習い事に出かけて仲間と談笑、また、かつて職場を同じくした方とのランチや小旅行等、楽しんでいきます。

坂野紀子

退職してから何年経ったのかも忘れ、畑で働いております。喜寿の年を迎えることができ感慨深いです。これからも元気に生活していきます。



加藤昌宏

退職後の趣味(野菜作り・ゴルフ)を八十歳までは続けたいと考えています。病気と付き合いながら。

巻 豊子

日々の生活が精一杯の今、「喜寿を迎えたこと」の喜びを改めて感じております。

これからも健康に留意し、自立した生活を送ることに努めてまいります。

山口瑠實子

スポーツジムに通い十五年、今は腰も膝も肩も全く痛くなく、快適に過ごしています。犬の散歩もしながら孫代わりに可愛がっています。

小関宇代

コロナ三年間じっとたえました。習いものは数をへらし、ひたすら毎日の食事づくりで精を出しました。今年、家の庭の草とりなど、目まぐるしく活動中です。毎日が日曜日のように過ごしてこんなに忙しいのか不思議。仕事をしているときは、よくこなしていたなど感心する昨今です。

鈴木サチ子

健康であることの大事さを日々感じ、感謝しながらすごしています。おかげ様で元気でいそがしい毎日です。皆様と一緒に蔵王山や月山に登り、楽しくすごしたことを思い出します。

この見開きのページのコメントは、「喜寿を祝う会」の出欠の返事の葉書から転載させていただきました。



プログラム

- トリッチ・トラッチ・ポルカ
- メドレー「日本のうた」
- パイナップル・ラグ
- G線上のアリア
- サウンドオブミュージック メドレー
- コーヒールンバ
- クマーナ
- 上を向いて歩こう
- マイウェイ

マリンバ『ピアチェーレ』

- 縄野 久子氏 飯野未奈美氏
- 高橋 真穂氏 青木 紗央氏

喜寿を

迎えて



喜寿を迎えて

本間章夫

たくさんの思い出をよみがえらせていただいたこの機会に感謝しております。支部長さんありがとうございます。

特に、これまで出会った全ての生徒の皆さん一人ひとりへの、言葉にできないたくさんの思いがこみ上げてきました。

私は今、五十年前に後藤和弘先生からいただいた「本間君、教育は、必要なときに必要なものを必要だけ与えることが大切。」の言葉をかみしめながら二才の孫をみています。

喜寿を迎えられる皆さん、これからも健康に留意しながら元気で過ごして参りましょう。

やり残し

川部昌平

「団塊の世代」と言われること自体もそうだが、子供の頃を思い出すと戦争の名残は他にもいろいろあった。ラジオでは毎日「尋ね人の時間」が流れていたし、縁日には傷痍軍人の姿がいつもあった。「ぼいっころ」という遊びの始まりは「戦闘開始！」であったし、軍人将棋で毎日遊んでいた。

また、新制中学校は誕生が大体一緒だが、民主主義の素晴らしさを説く先生たちもいた。民主や平和や自由という言葉の入った歌が中学校には沢山あったことも後から気づいた。

こういう時代の自分が喜寿になるという。何か大きなやり残しをしてきた思いにとらわれている。

風を切って

佐竹恵一

毎週月曜日の夕方、山辺温泉発着で走っている。三人で走り始めたのだが、今は二人になっている。準備運動をしてから二キロをゆっくり走る。残り五キロは、互いにフリーで走ることにしている。一人では気持が入らないので、思い切って走ることはできないが、仲間がいることでいつもよりはしつかり走ることが出来る。前を向いて腕を振ってゴールに向かつて一歩一歩進むのみである。走っている間は何も考えることはできない。ゴールした後五十メートルのダッシュをして終了である。

毎週一回、走って温泉に入ることとは八年間続いている。走ることはなかなか止められそうにない。

二度目の十七歳？

後藤恒裕

「二度目の十七歳」を迎えて、お陰様で何とか元気で畑仕事とゴルフに勤しんでいます。特に六十八歳から本格的に練習し始めたゴルフは楽しさと厳しさを味わえる人生ゲームそのものです。エイジシュートが目標ですが、さすがに十七は無理です。スコアは七十七を目指すことにします。困みに、これまでのベストは七十八ですが、このあとの「1」が遠い道のりなのです。何はともあれ気の合う仲間と楽しく切磋琢磨しながらプレーできる今は、第二の青春と言えましょう。

再び 子どもたちと

佐藤由紀

上山にある二つの放課後子ども教室で、「昔遊び」を楽しんでいる。それは、令和四年夏からスタートした上山市更生保護女性会の事業で、私は会の一員として関わっている。

「笑顔がいつばいかみのやまつ子を育む」を目標に掲げ、昨年は十回実施した。あやとり・お手玉・カルタ・紙しばい等々。昔は楽々出来た手遊びだが、手指が思うように動かないし遊び歌や順序も忘れていた。会員が集まって教え合うが、覚えたようでも「あれえ??」「結局『ま』ちがつてもいいから楽しくやっぺ!」と子どもたちと向き合っている。子どもは笑顔から元気をもらう。色々課題難題はあるが、無理せずゆつたりのペースで続けられたらいいな。

米寿を迎えられた方々

山形市	海和 秀子	山形市	市村 春子	山形市	松本 陽
"	渡辺 成子	"	飯田 淑子	"	奥山 盛治
"	石垣 藤子	"	門間久右衛門	上山市	関次郎兵衛
"	栗野マサ子	"	齋藤 健洋	"	三部もと子
"	佐々木千弘	"	加藤 寛治	"	長岡千喜子
"	榎本 彰夫	"	村上 恒昭	"	長岡 正彦
"	五十嵐憲一	"	北爪 隆子	"	鈴木 春吉
"	高橋 寛	"	小関 郁代	"	山口美枝子
"	平田 洋子	"	井上 秀夫	"	高橋 顕一
"	庄田 ミヨ	"	太田 良一	"	鴨原 昌子
"	加賀 哲子	"	宗片 京子	天童市	武田 義一
"	栗原 安隆	"	秋葉 智子	"	清野 元稔
"	黒木 武彦	"	岡崎 祐助	"	近藤美智子
"	渡邊 ユウ	"	加藤 昇	"	軽部 美子
"	鈴木 堯	"	早坂 妙子	"	小山田ノブ
"	山口 隆司	"	鈴木 睦子	"	庄司 輝子
"	工藤 哲夫	"	遠藤 常雄	"	高橋 靖子
"	荒井 和子	"	柴田 涼男	"	伊藤 豊
"	布施 尊子	"	神保 啓吉	"	野崎千鶴子
"	布施 博	"	小寺美智子	"	丹野 良子
"	豊島 圭吾	"	樋口 淳子	"	小野 義清
"	齋藤 勇雄	"	石沢 清	"	山辺町 大場 和子
"	池野 昭治	"	三部きよみ	中山町	齋藤 榮一
"	仲野 スガ	"	板垣寿美子	"	望月芙美子
"	鈴木久美子	"	櫻井 政俊	佳原町	中鉢 順子
"	堀野由喜子	"	安達 敬司	"	佳原明 中鉢 順子
"	齋藤 伸司	"	江口 稔	"	
"	大場 敬子	"	平 重雄	"	

(令和五年四月一日現在)

お知らせ 来年、米寿を迎えられる方は、昭和12年1月1日～12月31日までに生まれた方です。

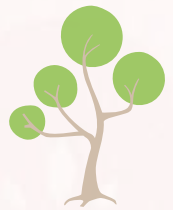
喜寿を迎えられた方々

山形市	本間 章夫	山形市	富樫のり子	山形市	佐藤 文子
"	阿部 英彦	"	佐竹 恵一	"	柏倉美保子
"	鈴木サチ子	"	大場 秀子	"	佐藤美紀子
"	菅原 和敏	"	相田 修	上山市	清野 和男
"	岩瀬 信夫	"	後藤 恒裕	"	梅村 文子
"	木村 悦子	"	遠藤 勢一	"	江口 和雄
"	杉沼 慶子	"	横沢 正巳	"	梅津 一春
"	鎌田 和子	"	野尻志津子	"	佐竹 寿子
"	渋谷 光夫	"	佐藤 洋子	"	佐藤 由紀
"	奥山 博史	"	武田 伸彦	天童市	小川 洋一
"	奥山ちゑ子	"	森谷 圓人	"	柏倉由紀子
"	佐藤 豊	"	富塚 光子	"	鴨田みさを
"	志賀 協子	"	井上 直英	"	長岡ミヨシ
"	坪沼 健行	"	山口 照彦	"	水戸 昭吾
"	永瀬 克	"	松森 幸栄	"	武田 純成
"	小山田通恵	"	川田 信夫	"	高橋 一夫
"	五十嵐義昌	"	高橋 良夫	"	佐藤 時男
"	安達 治彦	"	江口 裕子	"	土屋 正
"	内和 久子	"	松田田鶴子	"	伊藤 完一
"	板垣 敏之	"	齋藤 光子	山辺町	小松 俊雄
"	金田 和子	"	永沼千鶴子	"	三浦 繁則
"	尾形 與典	"	神保 敬子	中山町	秋葉 喜信
"	高橋 俊晴	"	梅村 正俊	"	大沼美智子
"	佐藤 淳一	"	川部 昌平	佳原町	春日 民子
"	加藤 昌宏	"	小山 久雄	"	

(令和五年四月一日現在)

お知らせ 来年度、喜寿を迎えられる方は、昭和23年4月2日～昭和24年4月1日までに生まれた方です。

いきいきいき人生



今、思うこと

小山田通恵

退職して早二十年、悠々自適かと思いきや、決して楽しいことばかりではなく、紆余曲折を経て、独り暮らしになった。寂しくない、と言えば嘘になるが、自由であり、マイペースに生活出来ている。ただ、困ったことに一日中、声を出さない様なこともあり、これでは駄目だ、と思い、市報を見て、視覚障害者の為のボランティア研修を受け、音訳ボランティアを始めた。声の出し方、アクセント、イントネーション、読みの間違えがない様に調べる等、中々大変ではあるが、仲間も出来、それなりに切磋琢磨しながら、生活に張りが出て楽しくやれている。そのほか地域の活動に出来るだけ参加する等、人と関わることの大切さを実感している。そんな中、コロナで、世の中の活動が休止した様になり、無為に時が過ぎていくもどかしさを感じていたが、それも一段落した今は、健康に気をつけながら元気に生きていきたい。

退職して二十三年

鴨田みさを

わが家には十一才の猫がいる。「のら母さん」から生まれ移動していたらしい。上の孫が小五の時友達の家へ自転車で行ったのに、白黒ぶちの子ねを抱いて歩いて帰ってきた。二日程様子をみたがどこからも連絡もない。エサをやったり寝床を作ったりとうとううちの猫になった。白黒の牛柄なので孫たちが「モウモウ」と名づけ、「モウちゃんかわいい。」と育ててきた。猫アレルギーの孫二人、かゆくなったりはれてきたり、世話する度に手洗いの日々。少しずつ落ち着いて十年過ぎた。コロナの真只中大学生になった上の孫、そして今年大学生になった下の孫。二人共家を離れわが家には私と息子夫婦とモウモウになった。半分外猫なのでまだまだ元気な猫を相手に、昔語りの練習をしたり、畑の野菜を育てたり、今年町内会の活動も忙しい。夏休みに帰ってくる孫たちをモウちゃんはどんな顔して迎えるだろうか。

健康に感謝

大武秀子

退職してからの私の楽しみは庭いじりです。四季折々の花に囲まれ、日々の世話が日課です。

春のマルバマンサクから始まり、万年青や薮柑子の赤い実で終わるまで、一年を通して楽しんでいますが、最近は宿根草が多くなりました。

花を通しての交流も広がり、木々に集まるヒヨドリや山鳩、カッコウ、ウグイスまで、野鳥の声を楽しんでいきます。

外には、山形県総合美術展覧会の洋画部門への挑戦や各紙柳壇への挑戦があります。どちらも自己流なので、入選・落選に一喜一憂しながら、細々と続けていきます。

猛威を振った新型コロナも、父方の祖父と伯父の命を奪った百年前のスペイン風邪と比べて、ウィズコロナで治まりつつあり、日常を少しずつ取り戻しつつあります。

幼少時、虚弱だった自分を顧みて、よくもこの年までと守られ、健康を維持できたことに感謝です。

朝顔

松田田鶴子

私は、花の中で『朝顔』が一番好きだ。たぶん、こんな原体験があるからではないかと思う。

私の祖母は、夏の朝はいつも朝顔をじつと見ていた。理由を聞くと、「毎朝、朝顔の花を見るのが好きなんだ。」とだけ答えた。その姿は、今も鮮明に残っている。私が幼い頃の平凡な朝の思い出として。

その後私は、職場や自宅で朝顔を育てるようになり、いつしか夫も手伝うようになった。夏の朝は、「今日は、七つも咲いた。」「今日初めて紫のが咲いた。」と、夫との他愛のない会話を何十年も続けてきた。

四月の初め、その夫が他界し、今年からは私が一人で朝顔の世話をしている。夏の朝の夫との会話を思い出しながら。

今、私は祖母以上の歳となった。これからは、多くのことは望まず、平凡でもいいから穏やかな日々を過ごしていきたいと思う。



『長寿を祝う会』に思う

横沢正巳

先日、南山形地区の『長寿を祝う会』の実行委員会を開催した。各町内会長をはじめ民生委員児童委員、福祉協力員、社会福祉協議会役員等数十名が参加した。見渡してみると、参加者のほとんどが七十歳以上、後期高齢者と呼ばれる（私もそうであるが）七十五歳以上の方も何割かいる。まさに長寿者が長寿者を祝う会となっている。

コロナ発生前は、七十五歳以上の高齢者を招待し、三百名の規模で開催していた。四年ぶりの今回は、実行委員以外は、米寿と金婚夫婦、敬老家族の招待にとどめ、規模を縮小して実施することにした。まだ収束していない中で実施に踏み切ったのは、コロナ禍における高齢者の引きこもりや認知症の進行などが問題化されているからであり、何よりもたくさんの方々に祝福されながら、祝詞と賀詞を受け取ってもらいたいと考えたからである。

今回、後期高齢者ながら祝う側で仕事ができることを喜ぶたい。

山形の「宝」を次世代に

渋谷光夫

私の健康持続の源は、イザベラバードの魅力の探究やコール・マイゼンでの男声合唱、野菜づくりなどである。

バードは、明治十一年七月に山形を訪れ新県庁街を詳しく見聞し、「裕福で活気に満ちている」と称賛した。彼女の著書「日本奥地紀行」は、各地の生活や社会の様子を記録し高い評価を得ている。

私はバードと山形の「時間と空間」を共有しようと、当時の資料を探っている。幸いにも菊地新学の写真、高橋由一・長谷川竹葉の絵画、鮮明な市街図が現存している。これらは山形を物語る「宝」である。またバード関連の研修会や顕彰碑建立の活動を通して、多くの県民が地域の歴史や文化財を学び次世代に繋いでいこうとの強い想いが伝わって、郷土愛醸成の原点だと再確認した。

今夏、旧山形師範学校講堂が隣接する国指定重要文化財「県教育資料館」と同様に保存活用しようという声が高まっている。ご支援を！

すいせいかマイルライフ

新入会員

〔今年度新たに加入された会員〕
よろしくお願ひします。

山形市	田中 敦
"	板垣 恵一
"	石澤 淑子
"	渋谷 邦武
"	神保 由美
"	設楽 重間
"	田中 隆司
"	須賀井 新人
"	荒木有 美子
"	小松 正広
"	東海林 基子
"	長谷川 美知子
"	原田 高志
"	村越 靖
"	阿部 英敏
"	鹿野 裕子
"	樋口 斉
"	河野 純子
"	黒田 葉子
"	川上 陽一
"	小原 宏幸
"	加藤 智一
"	佐藤 亨
"	野口 隆之
"	藤澤 元
"	松井 伸平
"	五十嵐 敏明

山形市	伊藤 一夫
"	田中 宏美
"	栗原 朋子
"	菊池 久人
"	菊池 基子
"	室岡 由美子
"	鈴木 徹
"	江口 俊和
"	高橋 洋
"	奥山 工リ子
"	豊島 純子
"	長谷部 恵
"	鈴木 裕子
"	三浦 祐一
"	本間 優子
"	小笠原 佳之
"	小林 由美子
"	渡辺 浩之
"	鈴木 覚
"	小島 真澄
"	加藤 治
"	佐藤 誠基
"	高橋 幸
"	今野 健
"	蓮沼 誓子
"	本間 正史
"	小関 友宣子

山形市	佐藤 珠希
上市市	村山 裕司
"	小室 裕子
"	横澤 隆
"	鈴木 明美
"	武田 千晶
天童市	後藤 肇
"	大木 一子
"	半田 真人
"	佐藤 真由美
"	宗片 史樹
"	今田 美知
"	後藤 篤
"	石野 孝弘
"	樋口 良彦
"	大沼 英記
"	大沼 美樹
"	海鋒 信
山辺町	渡邊 広明
"	渡邊 真理子
"	佐々木 茂
"	武田 美代子
"	佐藤 龍子
"	三浦 幸夫
中山町	誉田 由加子

新入会員の声

川の流れるように

武田千晶

若手と思っているうちに中堅と呼ばれるようになり、いつの間にかベテランと呼ばれる年齢になり、あつという間の三十八年。家に帰れば教材の山。やり残したことも数知れず…です。

今も、気持ちだけは若手のまま、かわいい二年生と充実した教員生活を送っています。若い先生方とともに学びながら、元気で働けるうちは現場でお役に立ちたいと思うこの頃です。

自然の中で、ゆったりと…

江口俊和

若い頃は、定年退職等は遠い未来のことと思っていた。しかし、今の自分には、定年退職した現実がある。改めて時の流れの速さを感じているところである。

現在は、フルタイムでの勤務を

ているので、生活時程は現役時代と大差ない。何年後だろう、もう少し時間が確保できるようになったら、自然の中にどっぷりと浸り、緑の濃さの変化に気付く位の生活をしてみたいと思っている。

つなぐ手の一つに

神保由美

旅するピアノが、今年も山形にやってくる。燃えさかる広島で瓦礫に埋もれた被爆ピアノを修理してトラックに積んで全国を巡っている矢川光則さんの活動である。

縁あって、この被爆ピアノ平和コンサートを、戦争末期に空襲を

経験した楯山小で三年に渡り開催していただいた。退職した今年は、矢川さんの「平和の種まき」を実行委員としてお手伝いすることを予定している。今こそ、多くの方の胸に被爆ピアノの音色を届けたい。

令和4年度 東南村山支部 事業報告

1 事業の目的

東南村山支部特別加入者相互の連絡及び親睦交流と福祉の増進を図る。

2 事業計画

- 1) 「総会・懇親会」6月30日(木) 午後2時 ホテルメトロポリタン山形 中止
- 2) 「喜寿を祝う会」9月29日(木) 午前10時30分 ホテルメトロポリタン山形 中止
- 3) 会議開催
 - ① 役員会 4月22日(金) 中止 6月14日(火)
 - ② 幹事会(支部長・副支部長・事務局長・会計幹事・幹事出席)山形市総合学習センター R4/4/12、6/2、7/27、8/24、11/17、R5/2/8、3/14(7回開催)
内容: R3年度会計監査、事業・決算報告・監査報告、R4年度幹事役割分担・事業計画・予算、「総会・懇親会」「喜寿を祝う会」開催計画(開催可否の検討を含む)、互助「東南村山」第10号編集計画、支部運営・事業等反省、会計中間報告、R5年度事業構想案(次年度アトラクションの構想などを含む)、R5年度予算案等
 - ③ 支部だより編集会議 9/21
 - ④ 三役会 12/19
 - ⑤ R4年度会計監査 R5/3/14
- 4) 支部だより「互助東南村山」第10号発行 R4/10/29 発行部数3100部
- 5) 新規加入者への広報活動
- 6) 会員異動把握と報告

令和4年度 東南村山支部 会計収支決算書

1 収入の部

項目	予算額	決算額	増減(△)	備考
支部運営資金	2,571,000	2,571,000	0	県本部より 720円×3,016人+400,000円(千円未満切捨)
懇親会参加費	182,000	0	△182,000	
雑収入	0	0	0	
計	2,753,000	2,571,000	△182,000	

2 支出の部

項目	予算額	決算額	増減(△)	備考
会議費	1,640,000	7,152	△1,632,848	幹事会・会計監査飲料代
印刷製本費	430,000	260,150	△169,850	互助東南村山第10号印刷、コピー代等
通信運搬費	80,000	60,190	△19,810	葉書代、切手代、郵送料
旅費交通費	100,000	62,086	△37,914	支部役員・地区幹事の交通費
諸謝金	410,000	233,294	△176,706	支部役員の会議日当、地区幹事報酬・日当
消耗品費	60,000	53,346	△6,654	プリンターインク代、コピー用紙代等
雑費	2,000	0	△2,000	
支払手数料	31,000	1,650	△29,350	振込手数料、円貨両替手数料等
計	2,753,000	677,868	△2,075,132	

収入合計 2,571,000円 - 支出合計677,868円 = 残高1,893,132円 (県本部へ返金)

監査報告

収支決算について監査の結果、適正・正確であることを認めます。

令和5年3月14日

監事 武田 純成 印
監事 荒木 雄之 印

お願い

- 特別加入者がお亡くなりになった時は、すみやかにご遺族、あるいは知り合いの方から県本部にご連絡下さい。お悔やみ電報・献花料が交付されます。
- 特別加入者の住所変更(転居・住所表記)の時は、本人自ら県本部にご連絡下さい。

連絡先/フリーダイヤル 0120-37-1765 県本部厚生担当まで

令和5年度 東南村山支部 事業計画

1 事業の目的

東南村山支部特別加入者相互の連絡や親睦交流と福祉の増進を図る。

2 事業計画

- 1) 「総会・懇親会」6月27日(火) 午前10時30分開会 ホテルメトロポリタン山形
- 2) 「喜寿を祝う会」9月27日(水) 午前10時30分開会 ホテルメトロポリタン山形
- 3) 会議開催
 - ① 役員会 4月20日(木) 6月16日(金)
 - ② 幹事会(支部長・副支部長・事務局長・会計幹事・幹事出席) 山形市総合学習センター R5/4/13、5/10、6/1、8/23、9/20、11/17、R6/3/14(7回開催)
内容: R4年度事業・決算会計監査及び報告 R5年度幹事役割分担事業計画、予算、「総会・懇親会」及び「喜寿を祝う会」開催計画、互助「東南村山」第11号編集計画、支部運営・事業等反省、会計中間報告、R6年度事業構想案(次年度アトラクションの構想などを含む)、R6年度予算案等
 - ③ 支部だより編集会議(必要に応じて)
 - ④ 三役会(随時)
 - ⑤ R5年度会計監査 R6/3/14
- 4) 支部だより「互助東南村山」第11号発行 R5/10/15 発行部数3100部
- 5) 新規加入者への広報活動
- 6) 会員異動把握と報告

令和5年度 東南村山支部役員

※印 新任

支部長	奥山 博史
副支部長	山形 啓行
〃	村石 実
〃	犬形 秀
監事	荒木 雄之
〃	武田 純成
事務局長	佐藤 豊
会計幹事	加藤 高志
幹事	酒井 進洋
〃	佐藤 とも子
〃	山崎 弘
〃	田中 淳
〃	齋藤 誠
〃	青柳 由起子

地区幹事

地区	地区幹事	会員数
山形市	石塚直樹 森森真司 高橋山歌 伊藤真説 犬石秀実	1,190人
上市市	江口和雄	257人
天童市	村形啓行	431人
山辺町	※加藤 信一	94人
中山町	大津 俊則	69人

会員合計 2,841人(R5/4/26現在)

編集後記

互助『東南村山』第十一号をお届けします。今年度は、新型コロナウイルス流行以前の支部活動に戻ることができました。支部活動のメインである総会・懇親会、喜寿を祝う会を予定通り行うことができましたが、まだ以前のような参加人数にはほど遠い状況です。ただ、参加された方々の感想やアンケートなどを見ると、美味しいものを食べ、美しい音色に心を癒やされ、懐かしい方々と再び会えた喜びをいつにも増して感じておられていたようでした。次年度、皆様の奮ってのご参加をお待ち申し上げます。

突然の原稿依頼にもかかわらず、快く原稿を寄せていただいた皆様、本当にありがとうございます。いきいきと健やかに毎日を送られているご様子に元気をもらえると同時に、明日からの目標や活力をいただける大変示唆に富んだ文章に励まされます。また、人それぞれのもの見方、考え方の違いにも勉強させられるところ大です。

さて、編集部では、もともとたくさんの方々の生き方・考え方に触れさせていただき、会員の皆様が実りのある毎日にしていくって欲しいと考え、広く原稿を募集いたします。文章だけでなく作品などを披露なさりたい方も広く募集いたします。原稿や作品をお寄せ頂ける方は、左記までご連絡をお願いいたします。お気軽にお電話下さり、互助会の原稿のことと、お話し下さい。

023-673-3338

齋藤まで

